

64 安全管理

コロナ禍における安全対策・熱中症対策

栃木県土木施工管理士会
株式会社前原土建
工事主任
海老原 侑治

1. はじめに

工事概要

- (1) 工事名：令和2年度水道事業下古山地区
配水管布設替工事第3工区
- (2) 発注者：下野市
- (3) 工事場所：下野市上古山地内
- (4) 工期：令和2年6月17日～
令和2年9月30日

2. 現場における問題点

工事を受注した段階で、新型コロナウイルスが全国的に感染拡大していた。この段階で栃木県内に関しては感染者が多い状況ではなかったが、今後の社会状況で、工事が休止・中止した場合の対処はどう対応したら良いか。

また工事に関する感染症防止対策は確立されていなかったため、マニュアル等はなく、今後の感染拡大、現場でのクラスターが発生した場合の対処、熱中症対策と関連してマスク着用などの安全対策をどう遂行すればいいかが問題点となった。



図-1 マスク着用での作業状況

3. 工夫・改善点と適用結果

先ず施工体制の確立を行った。当初は外注での施工を考えていたが、外注工事で行うと、現場作業員の健康管理を十分に把握する事が出来ないと判断したため、工事の大部分を直営による作業で行うこととした。これにより、平時からコミュニケーションを踏まえていたため、帰宅後の行動であったり、休工時の接触者等の懸念事項を、隔たりが無く確認する事が出来た。また交通誘導に関しては、警備業法の関係上、専門会社に依頼せざるをしかなく、極力同じ人選にて対処した。

そして始業時には全作業員に対して非接触型体温計を使用しての検温を行った。37.5度以上の体温の場合には、作業中止の勧告を行うことを、事前に社内外に通達をした。併せて、新規入場者教育時にも個々に説明し、入場時の検温を義務付けた。毎日の検温は表にして記録することにより、各自の平熱を管理することができ、外観から判断するその日の表情とは別に、各作業員の体調管理の判断基準として役立つ事が出来た。



図-2 非接触型体温測定

続いて、手洗いの徹底を行った。現場事務所にはポリタンクの水に加え、アルコール除菌剤を常備した。水は毎日汲み直し、アルコール除菌剤に関しては、濃度が75%のものを使用した。現場への入場時、作業の休憩・終了時には、こまめに手洗いを行い、感染予防に努めた。

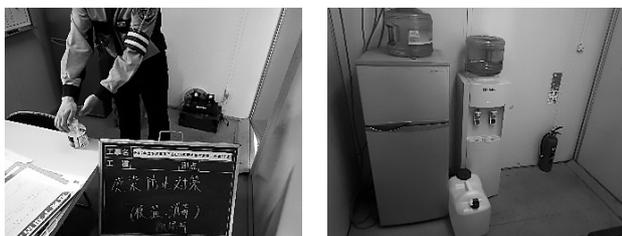


図-3 除菌・手洗い

そしてマスク着用による熱中症対策として、「熱中症対策ウォッチ」を着用して作業を行った。炎天下に加えて、マスクを着用することで、今までにない暑い環境下での作業となる。それに伴い身体にどれだけ熱が溜まっているか、身体からどれだけ熱を逃しているのか、自分自身の目で確認することができないため、着用することとした。これにより警報とLED表示で、視覚と聴覚で知ることができ、他者からも確認することができた。以前であったら、他者に迷惑を掛けないように、個々で無理に作業を行っていたが、今回着用したことで、警報が鳴った時には強制的に休憩をとる事とした。



図-4 熱中症対策

そして社会でも合言葉ともなっているソーシャルディスタンスを確保した。市道における配水管布設という狭い範囲での作業の特性上、完全に遂行する事は出来なかったが、朝礼や打合せ時には距離を確保し、事務所では換気を行い、密を避ける事が出来た。

4. おわりに

新型コロナウイルスの感染拡大の真っ只中での工事となった。熱中症対策としては放熱したい一方で、マスクで顔を覆うコロナ対策。相反している感は否めないが、感染予防のため、率先して衛生管理を行うこととなった。非接触型体温計や除菌剤等の衛生用品は、本社対応で調達してくれたことで、現場においては手洗い用の水の確保と熱中症対策に注力する事が出来た。当初はアルコール除菌をすればウイルス感染は回避できると思っていたが、後に濃度が重要であると知らされてからは、品質に着目することができた。

距離をとって、マスク着用での会話は、相手の声が聞き取りにくく、通常よりも大声での会話となり、弊害が生じることとなった。フェイスシールド・マウスシールドも着用して作業を行ってみたが、唾液の飛散・曇りによる視界不良等により、今回に関しては継続使用を断念した。

ウイルス感染防止に加えて、工事が梅雨時期と重なったことで、現場従事者には、普段以上の負担を強いたことに対して感謝したい。現場を預かる立場上、入場した全ての人に対して感染して欲しくないという思いで、今回の現場運営を行った。特に衛生に重点を置いた安全管理を徹底した。工事終了2週間後に、協力業者及び自社作業員に聞き取り調査を行った結果、感染者がいなかったことに安堵し、胸を撫で下ろすことができた。

今後の現場に関しても、今回以上の衛生管理が必須と考える。新たな知識を取り入れ、他現場も参考にして運営していこうと思う。